

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.881
2020.6.28

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

6月議会 一般質問②

子どもたちの命と健康最優先の学校へ



6月8日の一般質問に立った松村としお市議は、学校が1日から再開したことを受け、子どもたちのケアや学校でのコロナ対策などについて質しました。

子どもたちは学校の休校が3カ月間にもおよぶかつてない状況に置かれてきました。松村市議の質問で、学校から児童相談所への通告・相談件数が昨年同時期の99件に対し、休校期間中の3カ月は26件だったことが明らかになりました。

松村 これから夏休みや冬休みの短縮、土曜授業などがおこなわれれば、子どもも保護者もストレスがかかる。児童相談所などとの連携にはどうとりくんでいくか。

教育長 電話かけなど努力はしてきたが、学校が閉じているもとの察知が難しかった。これから先、子どもたちの心にどう寄り添っていくかが大変重要だ。スクールソーシャルワーカーなどを活用して組織的に子どもたちの心に寄り添う。

現場の尊重と少人数学級をいまこそ

松村市議は、学校の課題として「学びとともに人間関係の形成、学びや休息をバランスよく保障することが必要」と指摘し、学力テストなどの中止や現場対応の尊重を求めました。

松村 一人ひとり目を行き届かせ、密な状況を回避するためにも、少人数学級を拡大すべき。また、この時期の変形労働制導入は混乱をもたらす。導入しないよう求める。

教育長 少人数学級はこれまでと同様に国へ要望していくとともに、変形労働時間制は研究を続ける。

当事者の声に耳を傾けて

休校期間中の5月にさいたま市はデジタル授業「スタディエッセンス」をおこないました。休校期間が長引くなか、子どもたちの学習を保障するうえでインターネットの活用は一つの手

10万人拍手 子どもたちの心を踏みにじる強制は許されない

6月17日の文教委員会では、15日におこなわれた「Clap for Carers ～10万人の子どもたちから『ありがとう』の拍手を届けます」について報告され、松村としお市議が質疑をおこないました。

このとりくみは、通常登校がはじまる15日の10時に、市内小中高校などの168校で子どもたちがいっせいに拍手をすることで、医療従事者に感謝を表明するとして教育長の発案で企画されたものです。市内学校のうち4校は医療機関とオンラインでつなぎ、その様子をメディアが取材しました。

松村市議は、「『なぜ拍手をするのかわからない』といった子どもの声が寄せられた。全員の拍手を前提にしたのは子どもに対する強制ではないか」と質したのに対し、市

教育委員会は「事前指導をした。強制とは認識していない」「いずれ振り返り、思い出し、意味あるものと理解できる日が来ると信じたい」と答弁。松村市議は「子どもたちの自発性や心を置き去りにしたやり方。このことでつらい思いをした子どもや保護者がいた。申し訳なかったという一言を出してほしい」と求めましたが、市教委は「課題としてとらえたい。拍手が感謝を表すにふさわしかったかさまざまな意見を真摯に受け止めて、そこに十分な配慮があったか考える必要がある」と答弁しました。

松村市議は「一般質問では、子どもの心に寄り添うと答弁した教育長の発案で子どもたちの心を踏みにじったことに猛省を求める。二度とないようにしてほしい」と強く求めました。

法です。しかし、本市では急きょ教員が授業動画を作成し、家庭での通信環境も保護者が子どもにつき添う条件もまばらなかで、不満の声が多く出ました。

松村 保護者への手紙で教育長は「教員、子ども、保護者の3者に準備が十分でなかった」と書いたが、それを招いたのは教育委員会。教育長はじめ教育委員会は当事者の声に耳を傾けて今後生かすべきだ。

教育長 手をこまねくのは責任放棄だ。準備

が整ったらやるという考えは一切なかった。一刻も早く子どもたちの学びを保障したいという思いだった。当事者の要望にこたえ修正、改善を重ねた。動画は教育委員会と学校が一心同体になってつくった。今後も教職員とともに子どもたちの学びのために邁進したい。

松村市議は質問後、「現場や子どもの声を聴く姿勢が十分に見られなかった。引き続き現場の声を届けたい」と話しています。

若者自立支援ルーム開設

若者の自立に向けて 多面的にサポート

南区に、市で2カ所目の「若者自立支援ルーム」(さいたま市ユースサポートネットが受託運営)が開設され、とばめぐみ、金子あきよの両市議が視察をしました。

若者自立支援ルームは、不登校や引きこもりなど社会に生きづらさを感じている16～39歳の若者たちに、プログラムやイベント、居場所を提供しながら、自立を支援する施設です。学校や医療機関との連携を図り、家庭の問題、メンタル面での問題や障害などにも対応できるよう教職経験者や臨床心理士など



金子由美子市議長から話を聞く(右から)金子あきよ市議、とばめぐみ市議

の専門職も配置し、個別相談にも応じています。金子市議は「自立支援ルームを訪れる若者の生活実態が、精神的にも経済的にも深刻な実態がよくわかった。コロナ禍で社会的困難が広がり、子どもの貧困も社会問題となる中、若者たちの自立に向けた活動を支えられるよう、行政としても連携を十分図れるようにしていく必要がある」と話しました。

認可保育所・認定こども園・小規模保育施設… 市が「保育士配置基準の緩和」ねらう



保健福祉委員会で質問する神田市議

■特例の内容

- ①朝夕・土曜保育など子どもが少数の時間帯について、「保育士を最低2名配置しなければいけない」という基準を緩和し、保育士が1名でもよいこととする。もう1名は子育て支援員研修を修了した無資格者でよいこととする。
- ②幼稚園・小学校・養護教諭など、保育士と近接する資格を持つものを「みなし保育士」として配置可能にし、保育士としてカウントする。
- ③8時間以上開所する保育所等のうち、保育士の最低配置基準を超える以上に配置する保育士について、全体の3分の1以下の人数であれば、子育て支援員研修を修了した者や「市長が保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者」などを「みなし保育士」として配置可能にし、保育士としてカウントする。

6月議会に、認可保育所等における保育士配置の基準緩和を認める条例改正案がかけられました(表)。これは「待機児童対策」の名のもと、保育士の配置基準を緩和するものです。国は2016年度にこの特例の導入を通知していましたが、市は当時「保育の質に影響がある」として導入しませんでした。

6月15日の保健福祉委員会では、神田よしゆき市議が「なぜいまになって導入するのか。保育士の専門性をどう考えているのか」などと質し、市は「保育士の配置が大原則」としつつも「認可保育所等へのニーズが高く、今後も新規で増やし続けるなか、保育士の確保が困難であることから特例を導入したい」と答えました。

6月17日の委員会討論で、神田市議は「保育士が集まらないのは処遇改善が進まないから。この特例を先行して導入している政令市(11市)でも保育士の資格取得者が増えたという実績はない。保育士の負担を増やし、保育の質を低下させる本議案は認められない」として反対しましたが、他会派の賛成で可決されました。

さいたま市民憲章 急ぐ必要なし

2021年度にさいたま市民憲章を制定するための議案が、6月議会の総合政策委員会と予算委員会にかけられ、審査がおこなわれました。市民憲章を作成する審議会を設置する条例議案と、市民憲章制定に必要な経費として約600万円を計上する補正予算議案です。

質疑を通じて、市民憲章を制定する目的が「市民の心の拠り所になる」と曖昧な点や、市民に対するメリットが示されなかったこと、また制定を望む市民の声が具体的には確認されていないことが明らかになりました。



予算委員会で質問するたけこし市議

なにより、新型コロナウイルスの影響で多くの市民が多大な被害を受けているときに、約600万円をかけて市民憲章の制定を急ぐ必要はありません。市が実施理由とする「さいたま市誕生20年、総合振興計画のスタートの節目」というだけでは不十分です。党市議団は両議案に反対しましたが、他会派の賛成で可決されました。

あなたの身近な議員です

市議(北区)	市議(浦和区)	市議(緑区)	市議(桜区)	市議(見沼区)	市議(南区)	市議(中央区)
神田よしゆき	とりうみ敏行	松村としお	久保みき	とばめぐみ	金子あきよ	たけこし連